

# 北緯40度

## そぞろある記



### 皆で広げる善意の輪

第8回歳末チャリティー演芸会（県共同募金会 普代分会・村社会福祉協議会主催）が12月3日、村社会体育館で行われました。

園児や児童、婦人会、カラオケ同好会の皆さんらが出演し、多彩な出し物を披露（写真）。約400人

の観衆を楽しませました。

演芸会が園児のダンスメドレーで幕を開け、各婦人会や小中学校など17団体が出演。歌や踊りなどが次々と繰り広げられました。演芸会は隔年で行われ、今回の益金約10万円は県共同募金会普代分会（会長・深渡宏村長）に寄付されました。



### 鶺鴒うのとり神楽 巡業始まる



村鳥居地区にある鶺鴒神社に伝わる鶺鴒神楽の巡業が1月8日に始まり、神楽衆は同神社で舞い立ちの儀式を行いました。

この日の夜神楽は鳥居公民館。同地区の皆さんなど約30人が集まる中、松を迎えて新しい年を祝う「松迎え」（写真）や「山の神」など約10演目を披露。同地区の山本一成君（18）と高君（16）兄弟も立派に舞を披露しました。

北回りの今年は、久慈市方面まで神楽衆が足を延ばし、公民館や旧家で家内安全、無病息災などを祈る多彩な演目を舞い、沿岸地区に新春を呼びます。

### 寒風突いて出初め式

村消防出初め式が1月8日、役場駐車場を主会場に行われました。消防団員105人、婦人消防協力隊員35人など関係者ら170人が参加。昨年9件の火災と10月の低気圧災害、年の瀬の大雨災害と、災害続きだった昨年を振り返り、今年こそは火災や災害のない年を願い村を守る使命を決意しました。

統監の深渡宏村長「村を守るためには皆さんの協力が必要です。一丸となって防災に努めてほしい」と訓示。寒風吹きすさぶ中、団員、婦人消防協力隊員、久慈消防署普代分署員らと消防車両11台が、中心街を分列行進し、（写真）村民に火災予防を訴えました。

